

研修のねらい

- 相手のニーズや現状の問題点など、考えるべき内容を正しく分析できるようになります。
- 把握した方向に沿って、実際に広く深くしっかりと考えられるようになります。
- 考えたことを、地域住民や上司・同僚・部下に分かりやすく伝達できるようになります。

自治体は今、多様化するニーズの的確な分析や、地域住民に対する説明責任を強く求められています。そのため自治体職員は、それぞれの立場で論理的に分析・説明する力を身に付ける必要性に迫られています。また、内部に目を向ければ、庁内においても自分たちの考えを相互に論理的に分析・説明する能力が向上すれば、組織の生産性が高まります。

この研修では、論理的思考を身に付けることによって、正しく事態を分析し、広く深く考え、分かりやすく伝える論理的コミュニケーションスキルを身に付けます。こうしたスキルの向上は、様々な課題の発見や解決にもつながり、ひいては政策形成能力の習得にもつながります。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

午前	1. ニーズや現状をつかむ (1) 正しく把握する (2) 伝達のための典型的な視点 ◇ ペアワーク・発表 ◇ 「はじめに何を伝えるか」	2. モレ・ダブリなく考える“広い思考” (1) ミッシー(MECE) (2) ナンバリング・ラベリング (3) ブレインストーミング・KJ法 ◇ グループワーク・発表 ◇ 「ナンバリング・ラベリング」 ◇ グループワーク・発表 ◇ 「ブレインストーミング+KJ法」
	3. 根拠を添えて考える“深い思考” (1) ツールミンモデル ◇ ペアワーク・発表 ◇ 「論理の飛躍・不足を修正する」	5. 分かりやすく伝える (1) 人が「分かる」仕組み (2) 総合演習の解説 ◇ 総合演習 ◇ 「他者の業務の紹介」
午後	4. 筋道を追って考える“広く深い思考” (1) リンクマップ (2) 情報を説明する際のポイント ◇ グループワーク・発表 ◇ 「政策課題を発展・深耕させる」	